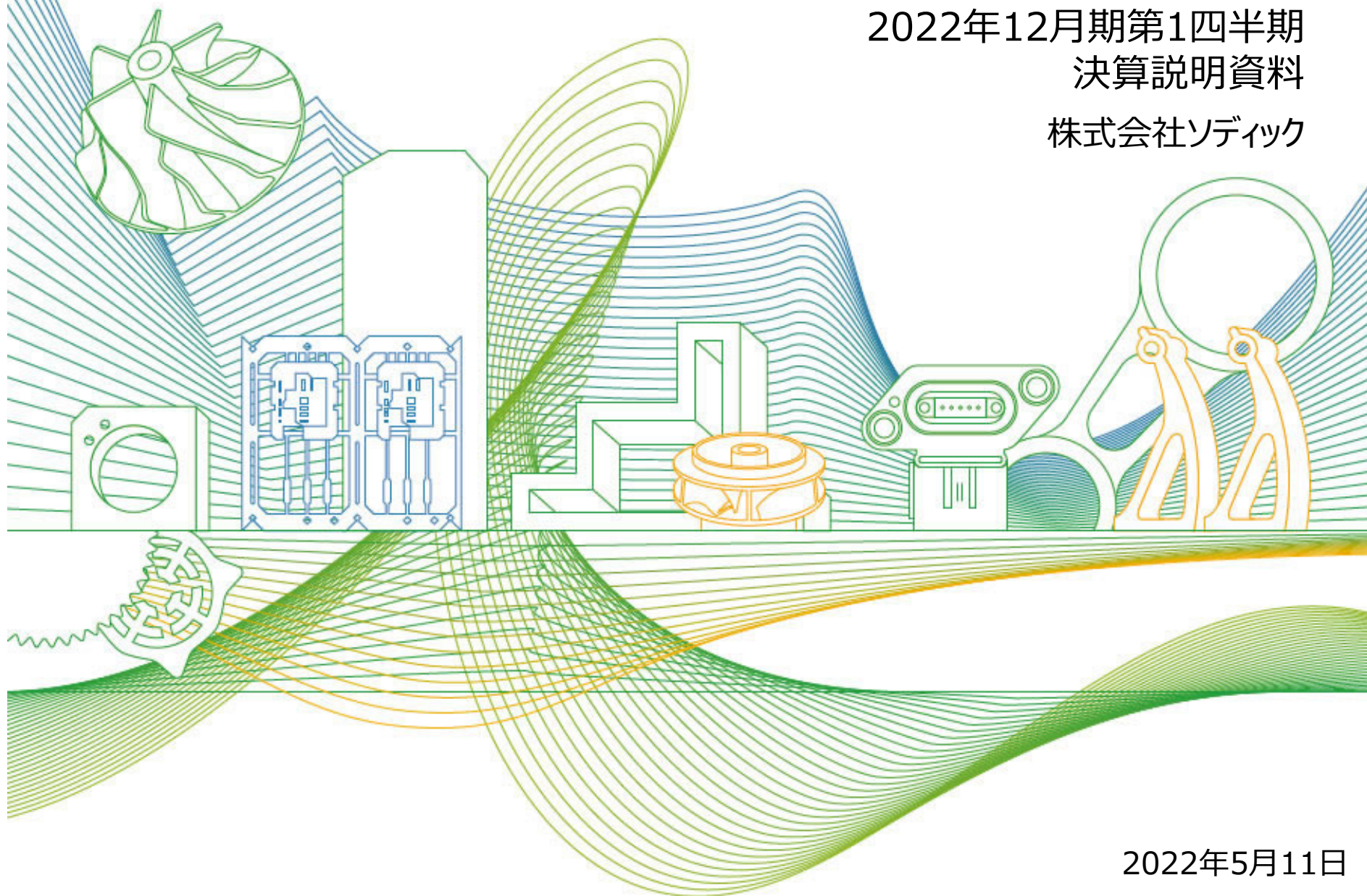




東証プライム市場 6143

2022年12月期第1四半期  
決算説明資料  
株式会社ソディック



2022年5月11日

**I. 2022年12月期 1Q決算概要**

**II. 2022年12月期 業績予想**

**(参考資料)**

**売上高 196億04百万円（前年同期比+37%）**  
放電加工機の販売が全地域で伸長

**営業利益 19億07百万円（前年同期比+349%）**  
生産台数増加により工場収益性が改善

**経常利益 29億75百万円（前年同期比+153%）**  
円安に伴う為替差益（約8億円）の発生

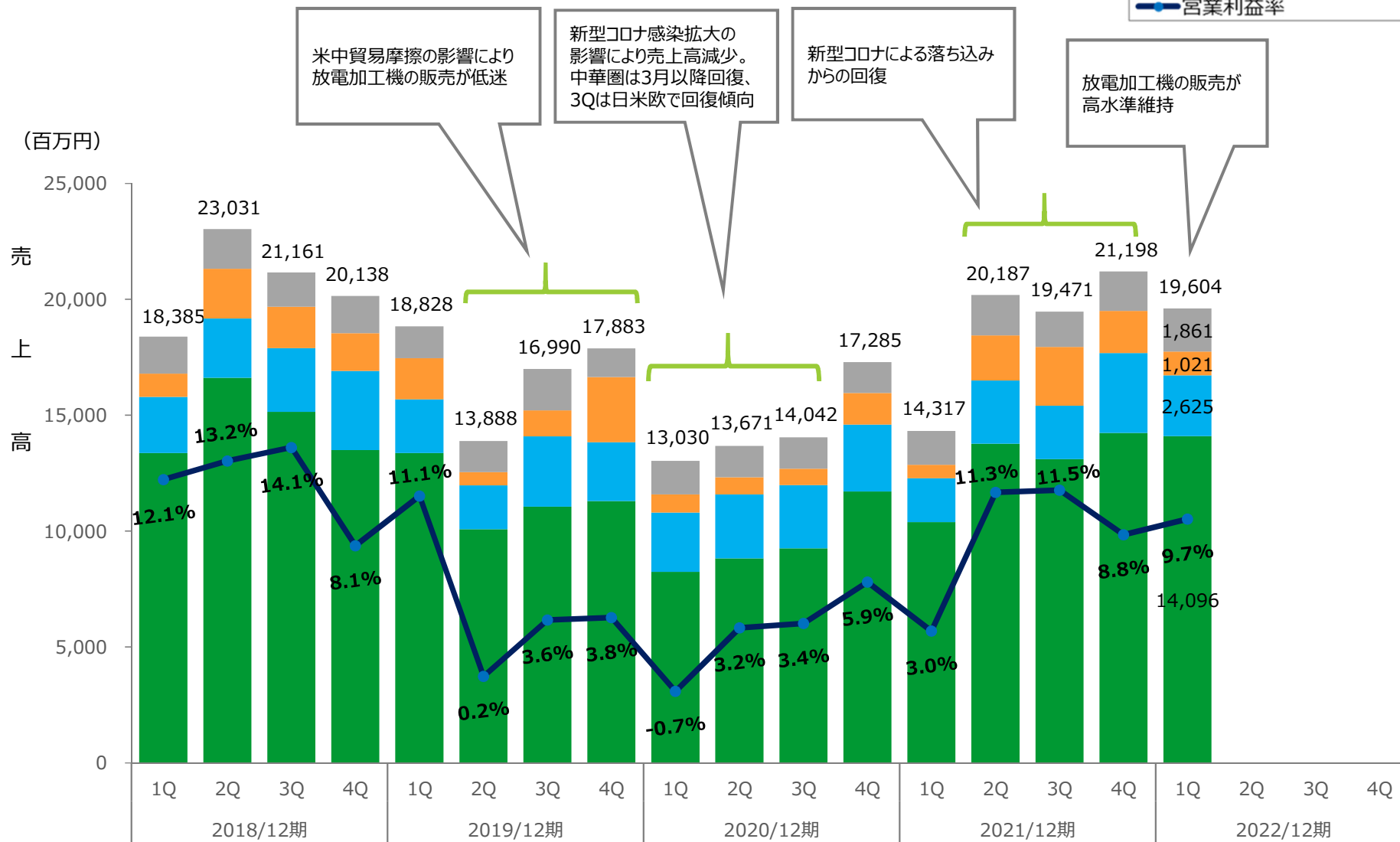
通期業績予想に対し、第1四半期の業績の進捗は順調  
利益面では計画を上回る進捗

## 業績ハイライト

- ✓ 放電加工機の販売が全地域で伸長し、全体の売上高増加を牽引。
- ✓ 利益面では、生産台数の増加に伴い、工場での収益性が改善。  
円安に伴う為替差益により営業外収益が増加し、経常利益を押し上げ。

(単位：百万円)	2021年12月期 1Q		2022年12月期 1Q		前年同期比 増減		2022年12月期 通期予想	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	14,317	-	<b>19,604</b>	-	5,286	36.9%	<b>77,900</b>	
売上総利益	4,652	32.5%	<b>6,553</b>	<b>33.4%</b>	1,901	40.9%		
営業利益	424	3.0%	<b>1,907</b>	<b>9.7%</b>	1,482	349.0%	<b>7,200</b>	9.2%
経常利益	1,176	8.2%	<b>2,975</b>	<b>15.2%</b>	1,799	152.9%	<b>7,200</b>	9.2%
当期純利益	871	6.1%	<b>2,113</b>	<b>10.8%</b>	1,242	142.6%	<b>5,700</b>	7.3%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	400	2.8%	939	4.8%			4,100	
減価償却費	814	5.7%	851	4.3%			3,500	
研究開発費	770	5.4%	685	3.5%			3,600	
期中平均 為替 レート	ドル	106.09 円	116.34 円	10.25 円 円安			115.00 円	
	ユーロ	127.81 円	130.40 円	2.59 円 円安			130.00 円	
	人民元	16.35 円	18.29 円	1.94 円 円安			17.50 円	
	バーツ	3.50 円	3.52 円	0.02 円 円安			3.50 円	

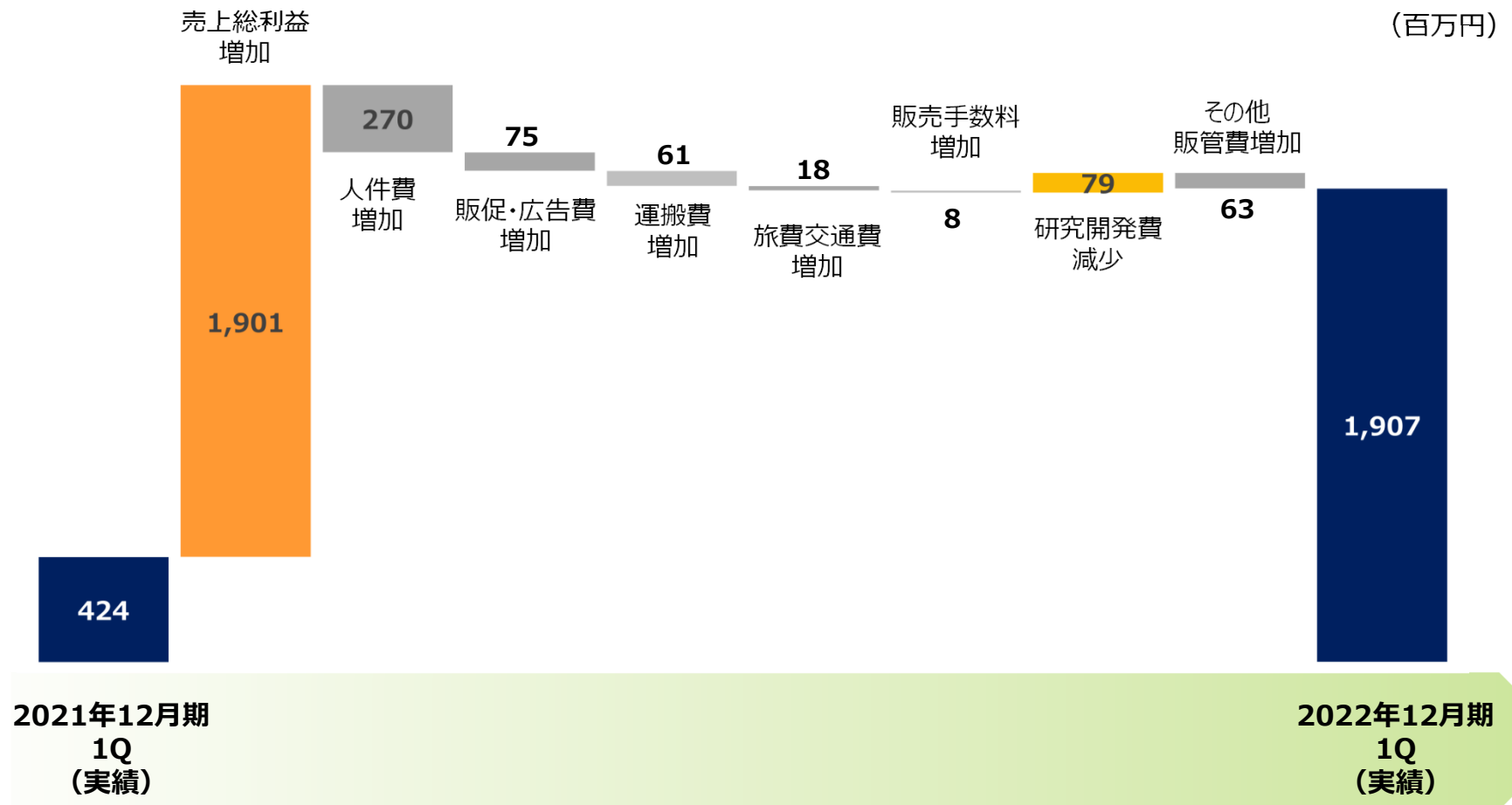
# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）



※1Q: 1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月

# 営業利益増減要因

- ✓ 販売台数の増加に伴い、売上総利益は大幅に増加
- ✓ 販管費合計は 前年同期比+4億18百万円（人件費の増加、リアル展示会開催に伴う販促・広告費の増加 等）



# セグメント別業績



(単位：百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減		2022年12月期 通期予想
	1Q 実績	1Q 実績	金額	率	
工作機械事業	10,382	<b>14,096</b>	3,713	35.8%	51,200
産業機械事業	1,893	<b>2,625</b>	732	38.7%	10,800
食品機械事業	580	<b>1,021</b>	440	75.9%	8,200
その他事業	1,460	<b>1,861</b>	400	27.4%	7,700
売上高 計	14,317	<b>19,604</b>	5,286	36.9%	77,900
工作機械事業	898	<b>2,143</b>	1,245	138.6%	7,500
産業機械事業	10	<b>152</b>	142	1,401.4%	300
食品機械事業	△ 39	△ <b>29</b>	10	△26.2%	950
その他事業	144	<b>188</b>	44	30.9%	950
セグメント利益 計	1,013	<b>2,456</b>	1,442	142.4%	9,700
調整額	△ 588	△ <b>548</b>	40	—	△ 2,500
営業利益 合計	424	<b>1,907</b>	1,482	349.0%	7,200

# セグメント別業績

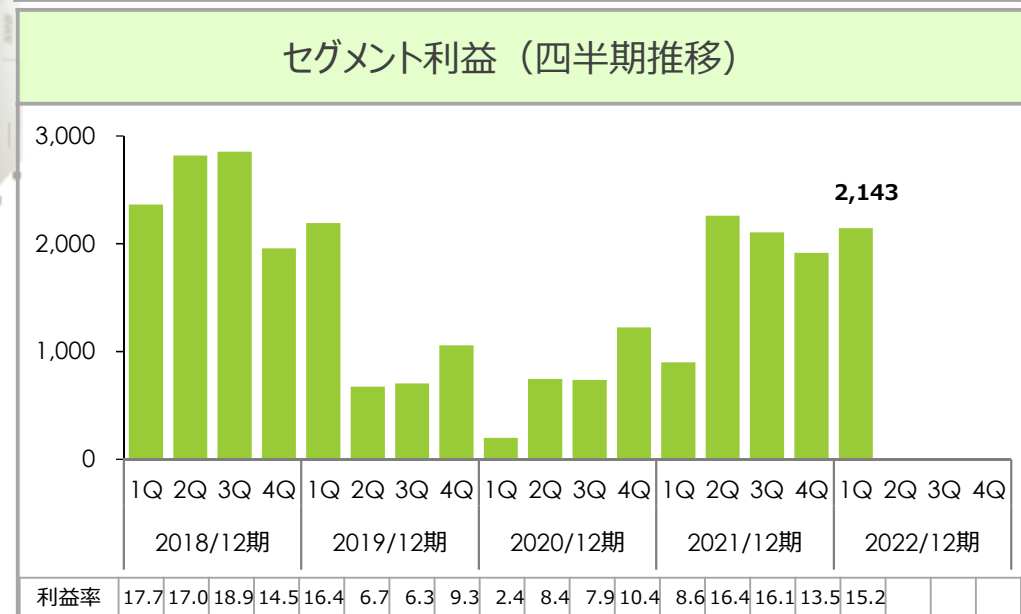
## ■ 工作機械事業

### 【売上高】

- 半導体不足等の影響で自動車関連は低調
- 電子部品、5G、半導体関連分野で需要拡大継続し、売上高は前年同期比で増加。
- 足元の受注は堅調だが、ウクライナ情勢悪化、中国でのロックダウンなど先行き不透明。

### 【セグメント利益】

- 生産台数の増加に伴い工場収益性が改善し、前年同期比で大幅に増加。



単位:百万円	2021年	2022年	増減	
	12月期 1Q	12月期 1Q	金額	率
売上高	10,382	<b>14,096</b>	3,713	35.8%
セグメント利益	898	<b>2,143</b>	1,245	138.6%

利益率 17.7 17.0 18.9 14.5 16.4 6.7 6.3 9.3 2.4 8.4 7.9 10.4 8.6 16.4 16.1 13.5 15.2



# セグメント別業績

## ■産業機械事業

### 【売上高】

- 国内はCASE関連の車載部品等の自動車関連、電子部品、医療関係向けが堅調
- アジアでのコネクタ向けの大口径案件、米国の医療関係が堅調で、売上高は前年同期比増加

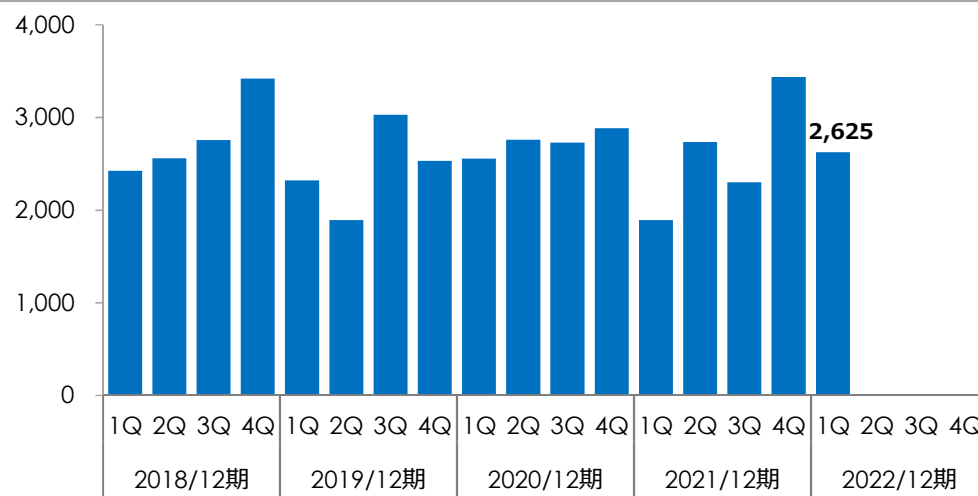
### 【セグメント利益】

- 売上高伸長により、前年同期比で大幅に増加

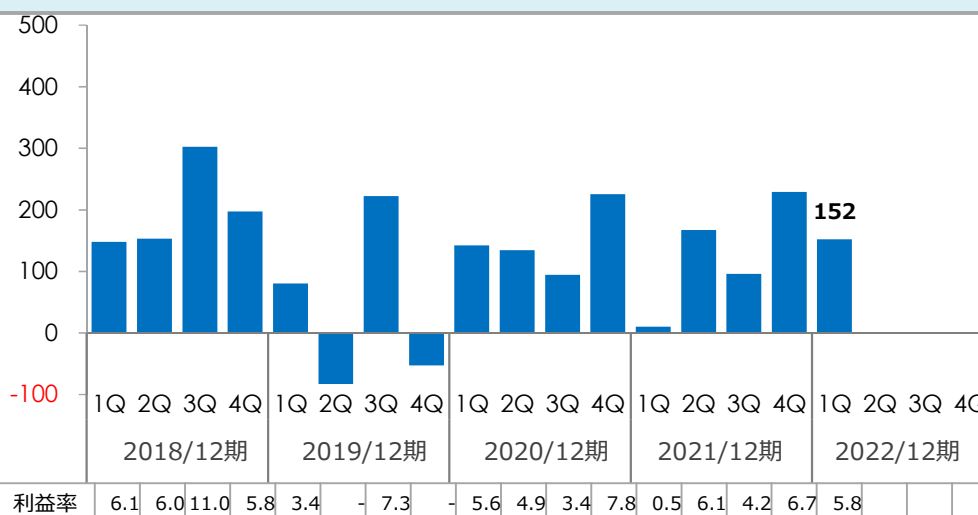


単位:百万円	2021年	2022年	増減	
	12月期 1Q	12月期 1Q	金額	率
売上高	1,893	<b>2,625</b>	732	38.7%
セグメント利益	10	<b>152</b>	142	1,401.4%

売上高（四半期推移）



セグメント利益（四半期推移）



# セグメント別業績

## ■ 食品機械事業

### 【売上高】

- 日本での製麺機関連設備、海外向けの無菌包装米飯製造装置の販売が順調に推移し、売上高は、前期比で大幅に増加

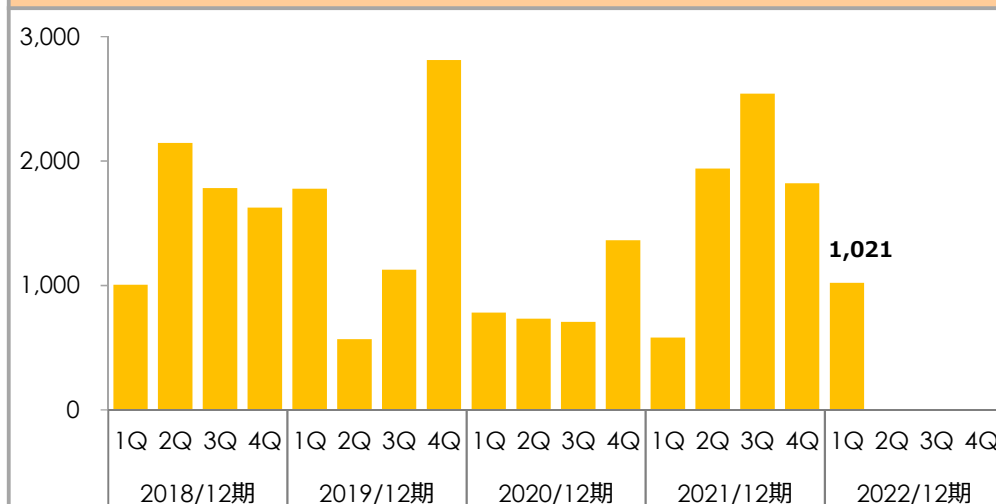
### 【セグメント利益】

- 一部案件における追加コストの発生等により、第1四半期は29百万円のセグメント損失

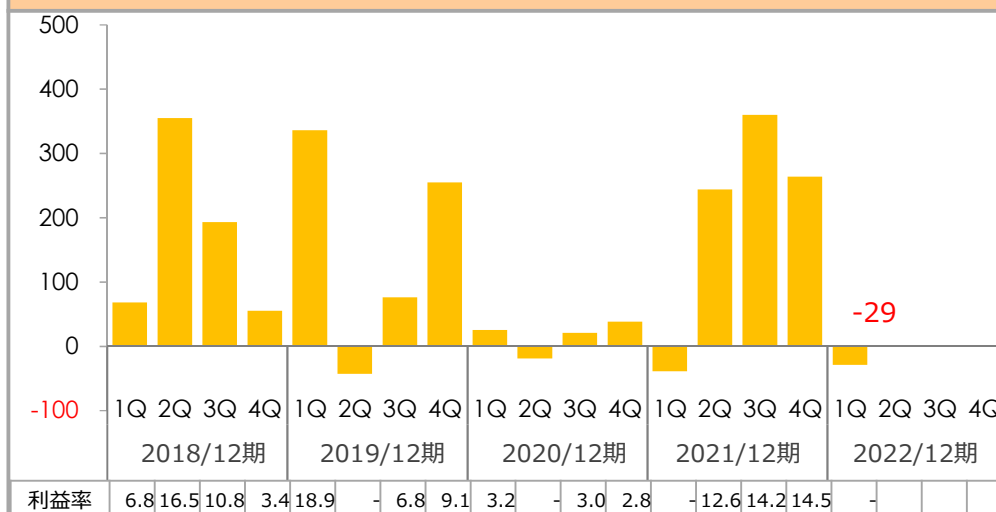


単位:百万円	2021年	2022年	増減	
	12月期 1Q	12月期 1Q	金額	率
売上高	580	<b>1,021</b>	440	75.9%
セグメント利益	△ 39	△ <b>29</b>	10	△26.2%

### 売上高 (四半期推移)



### セグメント利益 (四半期推移)



# セグメント別業績



## ■ その他事業

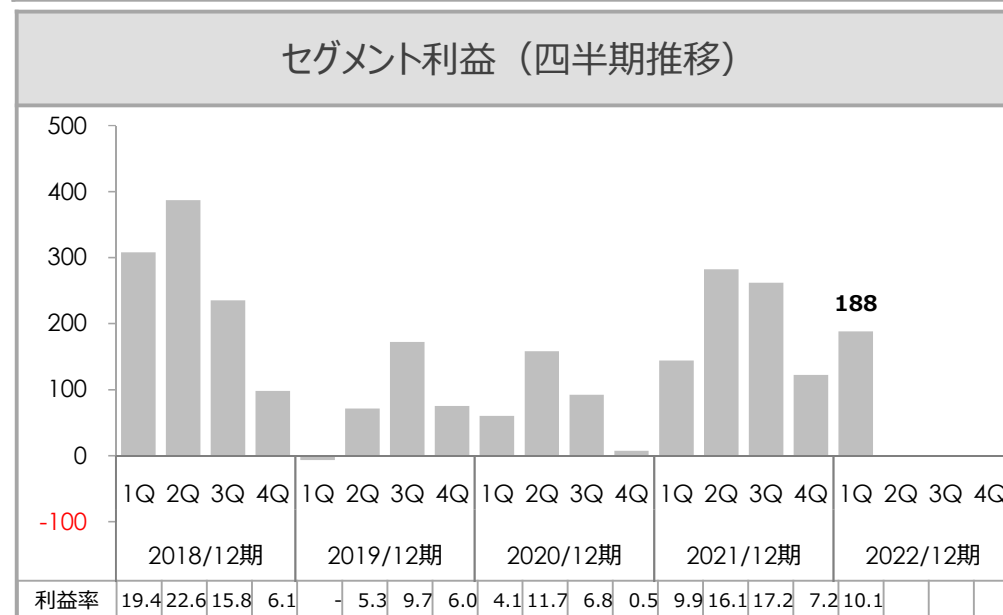
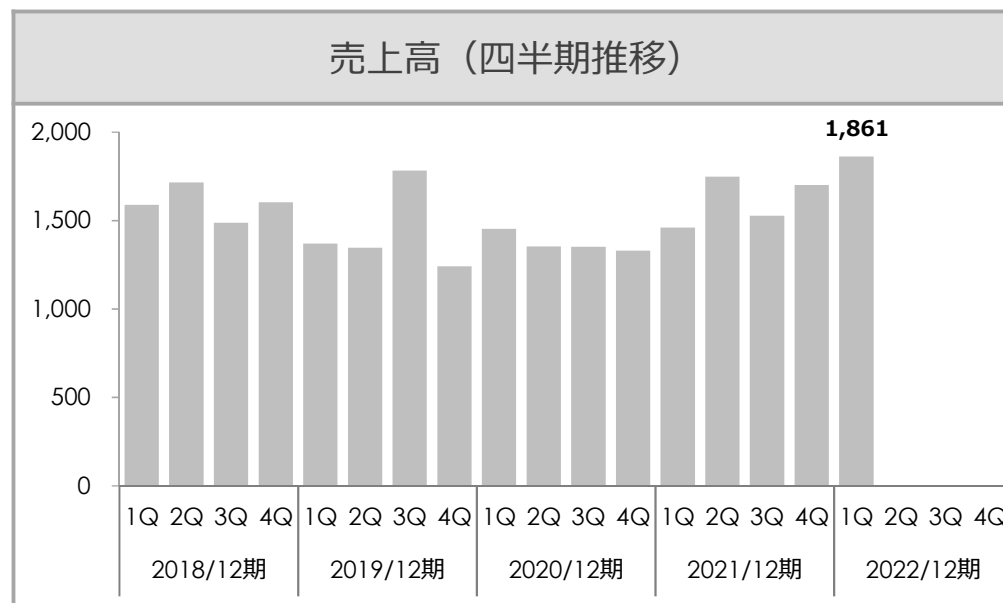
### 【売上高】

- 半導体製造装置メーカー向けのセラミックスの需要は継続
- 金型成形事業は、半導体不足やサプライチェーンの混乱により自動車産業の需要は減速するも、生産品目の拡大等により前年同期比で増加

### 【セグメント利益】

- 金型成形事業において精密金型の販売は価格競争が厳しい状況であるが、自動化対応等により生産効率を向上させ、利益を確保

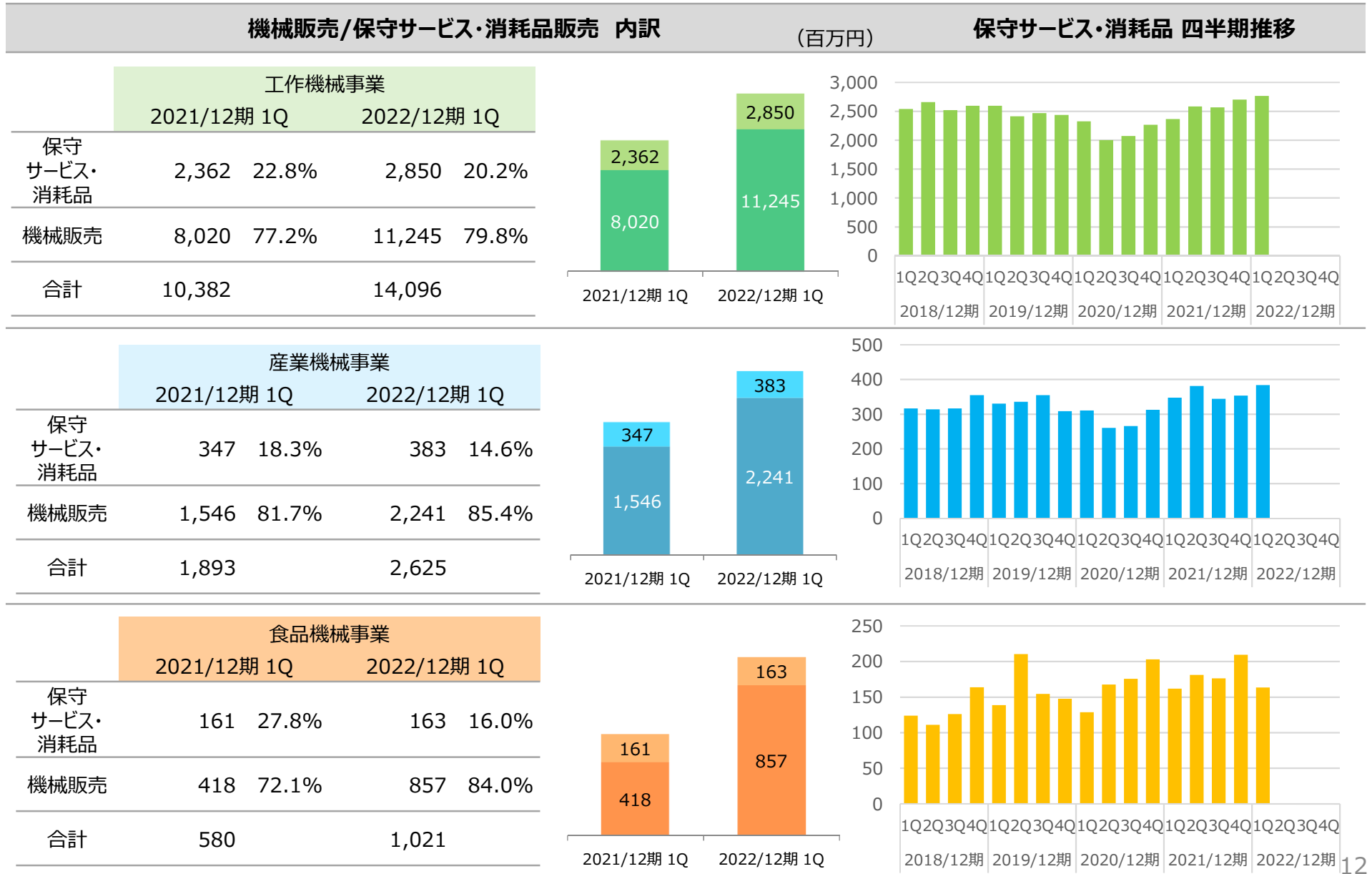
単位:百万円	2021年	2022年	増減	
	12月期 1Q	12月期 1Q	金額	率
売上高	1,460	<b>1,861</b>	400	27.4%
セグメント利益	144	<b>188</b>	44	30.9%



利益率	19.4	22.6	15.8	6.1	-	5.3	9.7	6.0	4.1	11.7	6.8	0.5	9.9	16.1	17.2	7.2	10.1
-----	------	------	------	-----	---	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	------	------	-----	------

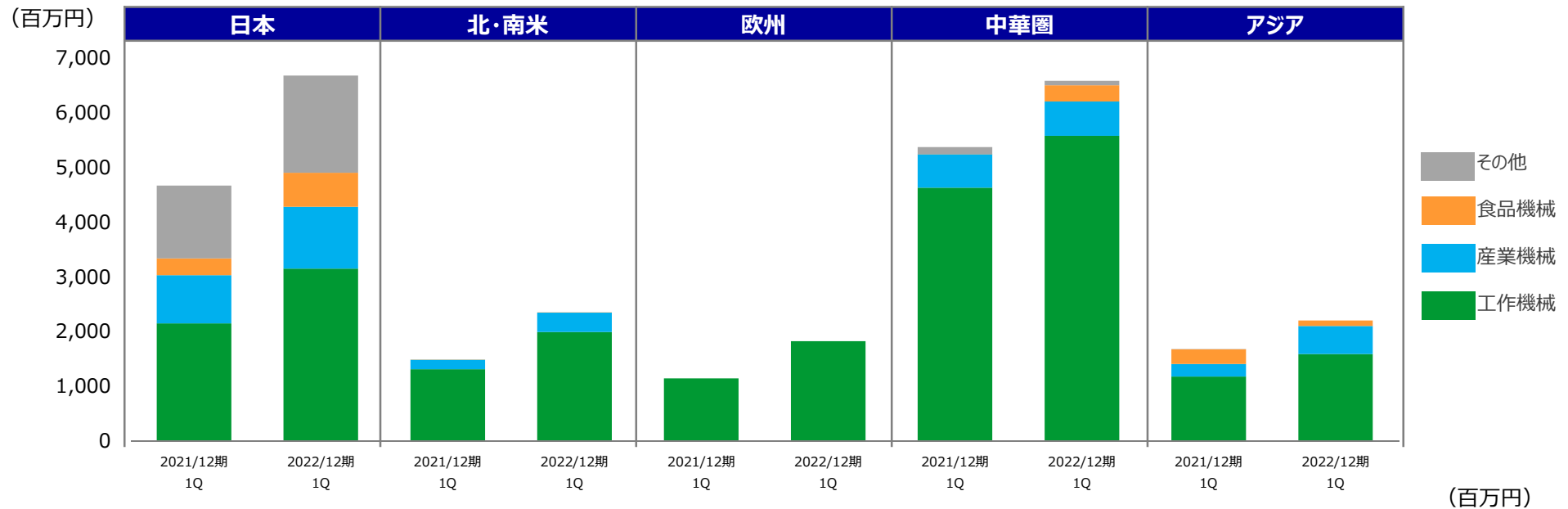
# セグメント別 売上高内訳

✓ 機械の稼働率向上に伴い、全セグメントにおいて、保守サービス・消耗品の販売が増加。



# 事業別海外売上高比率

✓ コロナ禍からの回復が遅れていた日本において売上が伸長。



2021年12月期 1Q	日本	北・南米	欧州	中華圏	アジア	計
工作機械	2,141 20.6%	1,307 12.6%	1,139 11.0%	4,621 44.5%	1,172 11.3%	10,382 72.5%
産業機械	882 46.6%	170 9.0%	0 0.0%	611 32.3%	229 12.1%	1,893 13.2%
食品機械	304 52.5%	4 0.7%	0 0.1%	3 0.6%	267 46.1%	580 4.1%
その他	1,330 91.1%	—	—	129 8.8%	1 0.1%	1,460 10.2%
地域別 計	4,659 32.5%	1,482 10.3%	1,140 8.0%	5,365 37.5%	1,670 11.7%	14,317 100.0%

2022年12月期 1Q	日本	北・南米	欧州	中華圏	アジア	計
工作機械	3,140 22.3%	1,982 14.1%	1,817 12.9%	5,570 39.5%	1,584 11.2%	14,096 71.9%
産業機械	1,133 43.1%	356 13.6%	—	624 23.8%	511 19.5%	2,625 13.4%
食品機械	621 60.8%	3 0.4%	—	296 29.0%	99 9.8%	1,021 5.2%
その他	1,776 95.5%	—	—	84 4.5%	—	1,861 9.5%
地域別 計	6,671 34.0%	2,343 12.0%	1,817 9.3%	6,575 33.5%	2,196 11.2%	19,604 100.0%

為替の影響額                    -                    +約 1.7 億円                    +約 0.4 億円                    +約 6.5 億円                    +約 0.7 億円                    +約 9.3 億円

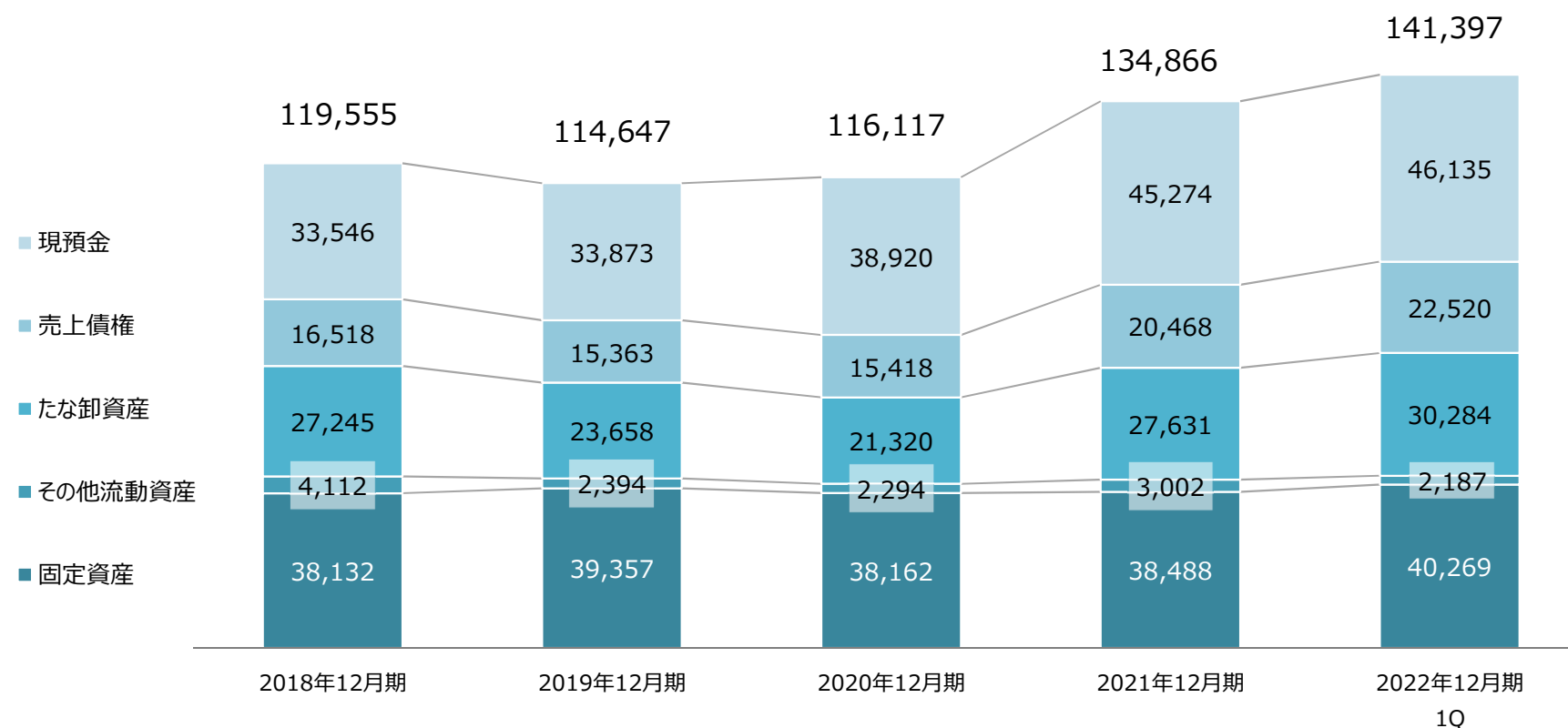
# 貸借対照表



✓ 製品在庫及び部材不足に備えた先行手配による仕掛品・原材料等の増加により、棚卸資産が約26億円増加

## 資産

(百万円)



期末日	ドル	111.00 円	109.56 円	103.50 円	115.02 円	122.39 円
レート	ユーロ	127.00 円	122.54 円	126.95 円	130.51 円	136.70 円
	人民元	16.16 円	15.67 円	15.88 円	18.06 円	19.26 円
	バーツ	3.41 円	3.63 円	3.44 円	3.43 円	3.68 円

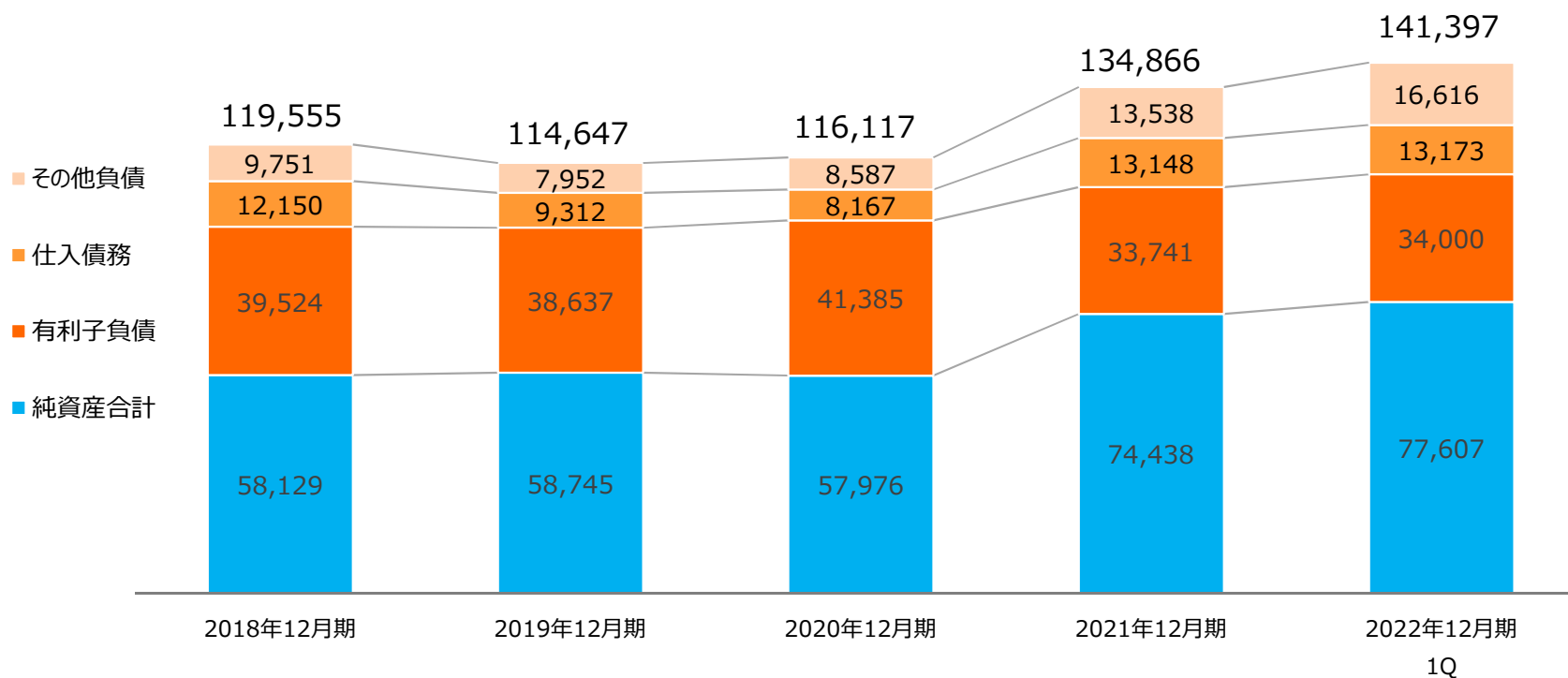
# 貸借対照表



✓ 為替レートの円安推移による為替換算調整勘定の増加等により、純資産が約32億円増加

## 負債・純資産

(百万円)



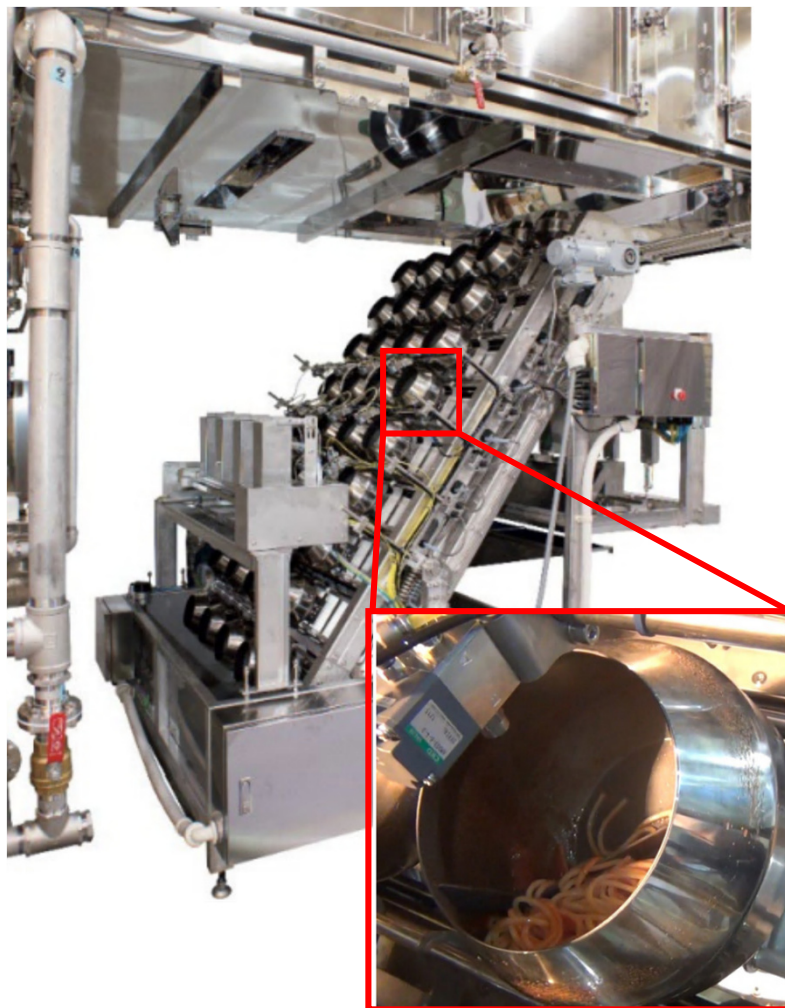
ドル	111.00 円	109.56 円	103.50 円	115.02 円	122.39 円	
期末日	ユーロ	127.00 円	122.54 円	126.95 円	130.51 円	136.70 円
レート	人民元	16.16 円	15.67 円	15.88 円	18.06 円	19.26 円
	バーツ	3.41 円	3.63 円	3.44 円	3.43 円	3.68 円
自己資本比率		48.5%	51.2%	49.9%	55.2%	54.8%
ネットキャッシュ		-5,978	-4,763	-2,464	11,533	12,135

1

## 調味液等の添加・攪拌工程の無人化を実現 調理麺製造ライン用自動麺ほぐし・調味機「ネオマザール」の販売

12

つくる責任  
つかう責任



### 鮮度延長により食品廃棄を低減

工程の自動化により調理中の雑菌・異物混入のリスクを低減。調理麺製品の鮮度延長を実現。

### 省人化によるコスト削減

従来手作業で対応していた調理麺のソース等の調味液添加・攪拌工程を自動化。1食毎ごとに調味液を添加・攪拌でき、人手不足の解決策として製造工程合理化に貢献

### 清掃性が高く、衛生状態を維持

攪拌時のカップの回転に弊社独自の「非接触マグネット伝動式」を採用し、電装部品（モーター等）と機械部（カップ等）を完全分離。本体はオールステンレス製の完全防水仕様、カップ内側の特殊コーティング、シャワーノズルを装備した煮沸洗浄装置の採用など、清掃性が容易で、清潔な状態を維持でき、食品の安全性が向上



## 2 お客様向けWebチャネル「Sodick Connect」の開設



「Sodick Connect」

### Webチャネルの活用により 顧客サービスの強化を目指す

2022年2月、当社の工作機械製品を保有するお客様を対象にWebチャネル「Sodick Connect」を開設。機械の操作・機能説明、各種カタログ、イベントやスクールの案内など、製造現場で役立つさまざまな情報を配信。修理・点検サービスやスクールの申し込み、各種問い合わせも可能。

今後は、顧客サービスの強化を図るとともに、そこから取得・蓄積したデータをトータルソリューションの提案に活用していきます。

「Sodick Connect」ページ ▶

<https://customer.sodick.co.jp/log-in/>



## 3 食品機械「バーチャルショールーム」を新設



### 食品機械をもっと身近に

新たにバーチャルショールームを開設。加賀事業所の食品機械工場内のショールームを、360度カメラによる映像で、様々な食品機械を紹介。各機械のイメージがよりわかりやすく、さまざまな角度から製品を確認可能。

主力の製麺機、無菌包装米飯製造システムに加え、惣菜殺菌関連装置、製菓関連装置などもご紹介しています。



## 4 モーション製品「Web展示会」を新設

独自のナノメートル駆動技術で  
世界の技術発展に大きく貢献

高速モジュール動画  
カウンターテーブル動画

放電加工機、射出成形機、切削加工機などの工作機械で養われた独自のナノメートル駆動技術です。それらを支える独自開発リニアモータと

初めてリニアモータをご検討されるお客様

リニアモータ選定等  
Q&A

モータ選定シート動画

## 独自のナノメートル駆動技術で 世界の技術発展に大きく貢献

放電加工機、射出成形機、切削加工機などの工作機械で養われた独自のナノメートル駆動技術をご紹介します。リニアモータ、モーションコントローラ、高性能アンプなどを、動画や事例を交えて分かりやすく紹介。

初めてリニアモータをご検討されるお客様に向けて、FAQもご用意しています。



モーション製品 特設サイト ▶

### 5 2021年 第64回「十大新製品賞」(主催: 日刊工業新聞社) 高速造形 金属3Dプリンタ「LPM325S」が「本賞」を受賞



## メンテナンス頻度の大幅削減し、 最新技術のものづくりをリード

造形精度・造形速度等の性能向上を実現。

製造現場において極めて重要となる「運用性の向上」「メンテナンス頻度の削減」「トラブル発生の未然防止と低減」に対する機能強化で、さらなる長時間高速安定造形を実現し、現場の生産性向上に貢献。

造形時は、チップ等の廃棄物が発生せず、材料消費量削減、CO2排出削減などが期待でき、環境にもやさしいものづくりへ貢献します。



「LPM325S」製品情報ページ ▶

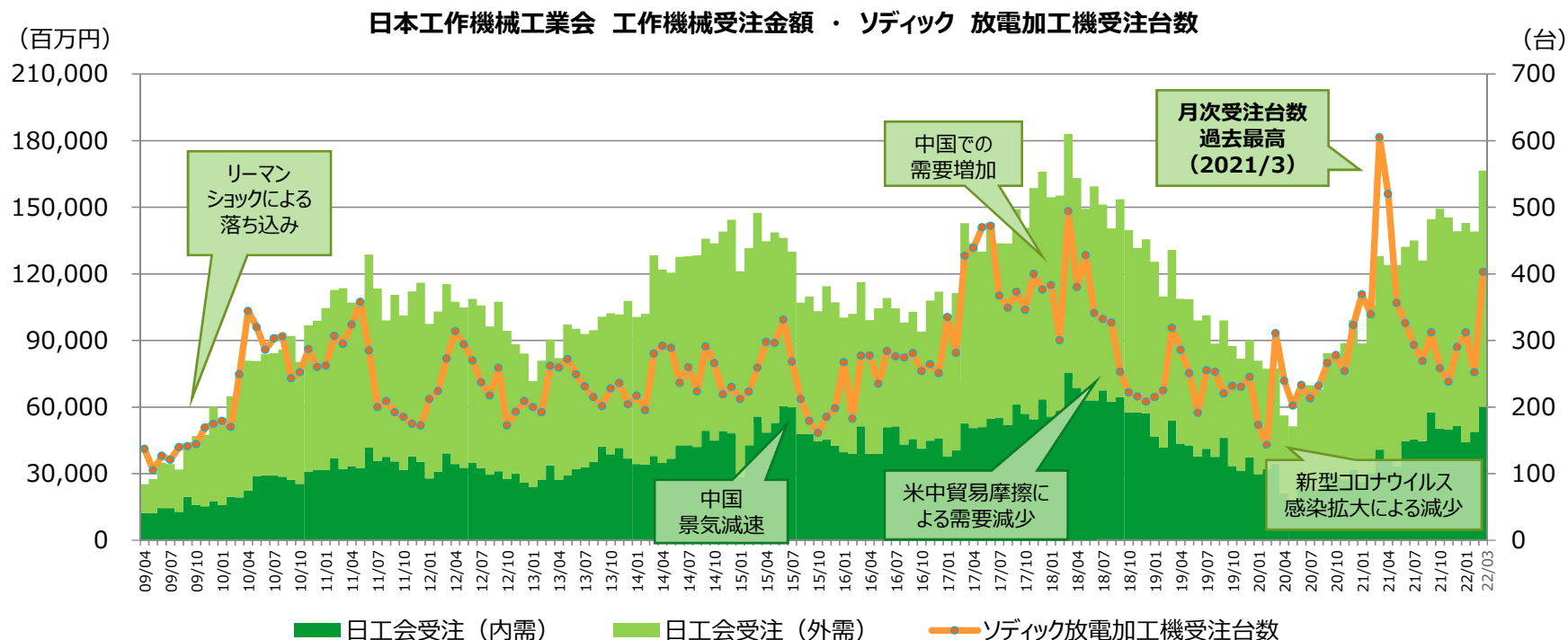
<https://www.sodick.co.jp/special/3dsolution/>

I. 2022年12月期 1Q決算概要

II. 2022年12月期 業績予想

(参考資料)

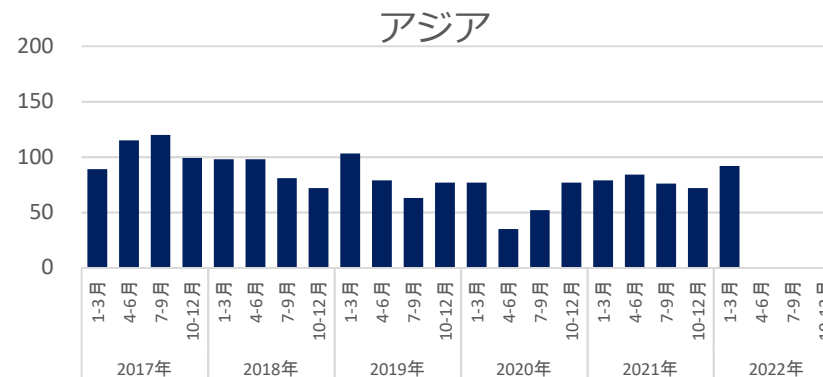
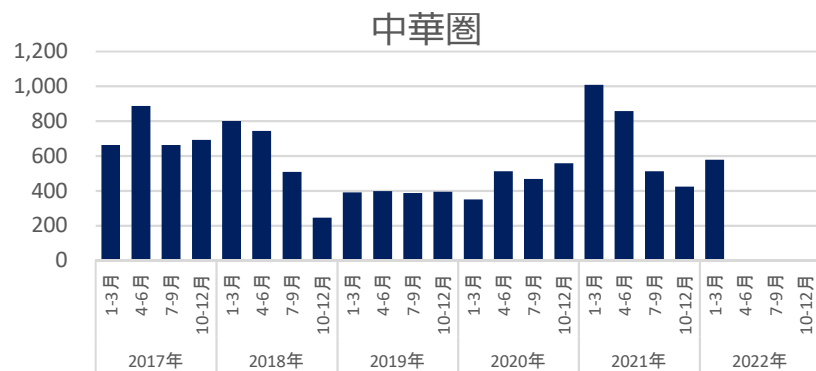
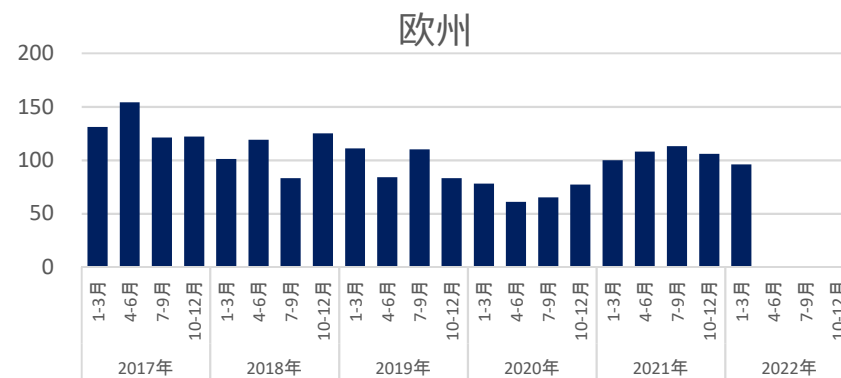
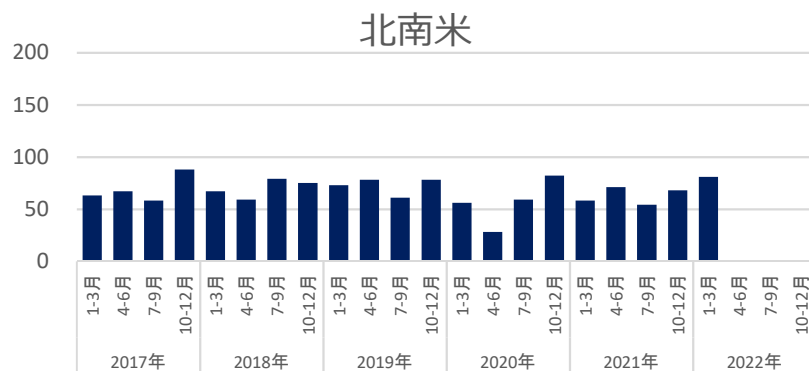
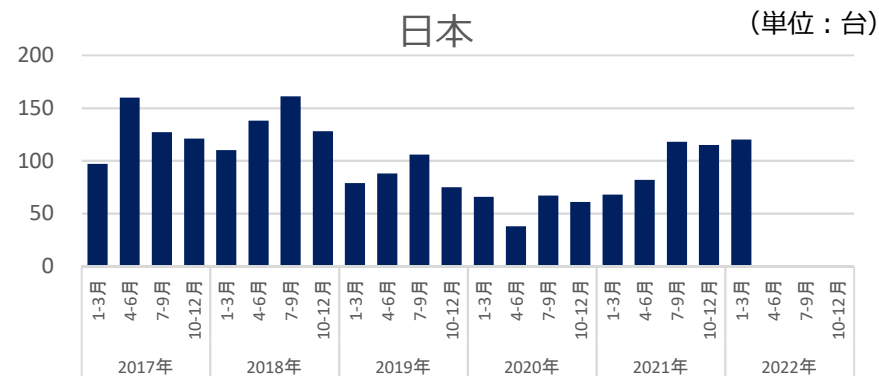
国内	補助金政策や老朽化設備更新需要、次世代自動車・5G関連向け等需要期待	部材調達	電子部品を中心に部材調達のひっ迫が継続。リードタイムに応じた先行手配、緊密な納期確認・交渉、代替品対応等を実施
欧米	自動車関連は回復傾向あり、航空宇宙関連は厳しさ継続の見通し。	中国 ロックダウン	上海販社所在エリアにおいて3月末からのロックダウンにより営業活動や物流が一部停滞。その他中国国内の拠点は現状はロックダウンしていないが、今後の懸念あり
中華圏	5G、半導体、自動車関連等で高精度機需要継続の見込みだが、ゼロコロナ政策によるロックダウン等、先行きは不透明感あり	ウクライナ 情勢	英国の販売子会社が現地代理店経由でロシアに工作機械を販売。現在は情勢を見極めるまで販売停止。ロシアでの売上高は僅少で、当社業績への直接的な影響は限定的。
アジア	地域別に濃淡あるも、回復に転じる見込み。		



# 放電加工機 地域別受注推移



✓ 欧州を除く全地域において1Qの受注が増加



## 2022年12月期 通期業績予想（進捗状況）



- ✓ 売上高・営業利益ともに計画に対し順調に進捗。
- ✓ 部材調達のひっ迫、サプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢、コロナによるロックダウン、急激な為替変動など、懸念材料あり、通期計画は期初から修正せず据え置き。

(単位：百万円)	2022年12月期 1Q		2022年12月期		進捗率	2021年12月期
	実績	利益率	通期計画	利益率		実績
売上高	19,604	-	<b>77,900</b>	-	25.2%	<b>75,174</b>
営業利益	1,907	9.7%	<b>7,200</b>	9.2%	26.5%	<b>6,813</b>
経常利益	2,975	15.2%	<b>7,200</b>	9.2%	41.3%	<b>8,588</b>
当期純利益	2,113	10.8%	<b>5,700</b>	7.3%	37.1%	<b>6,591</b>
期中平均 為替 レート	ドル	116.34 円	115.00 円			109.90 円
	ユーロ	130.40 円	130.00 円			129.91 円
	人民元	18.29 円	17.50 円			17.01 円
	バーツ	3.52 円	3.50 円			3.44 円



## 2022年12月期 通期業績予想（セグメント別）

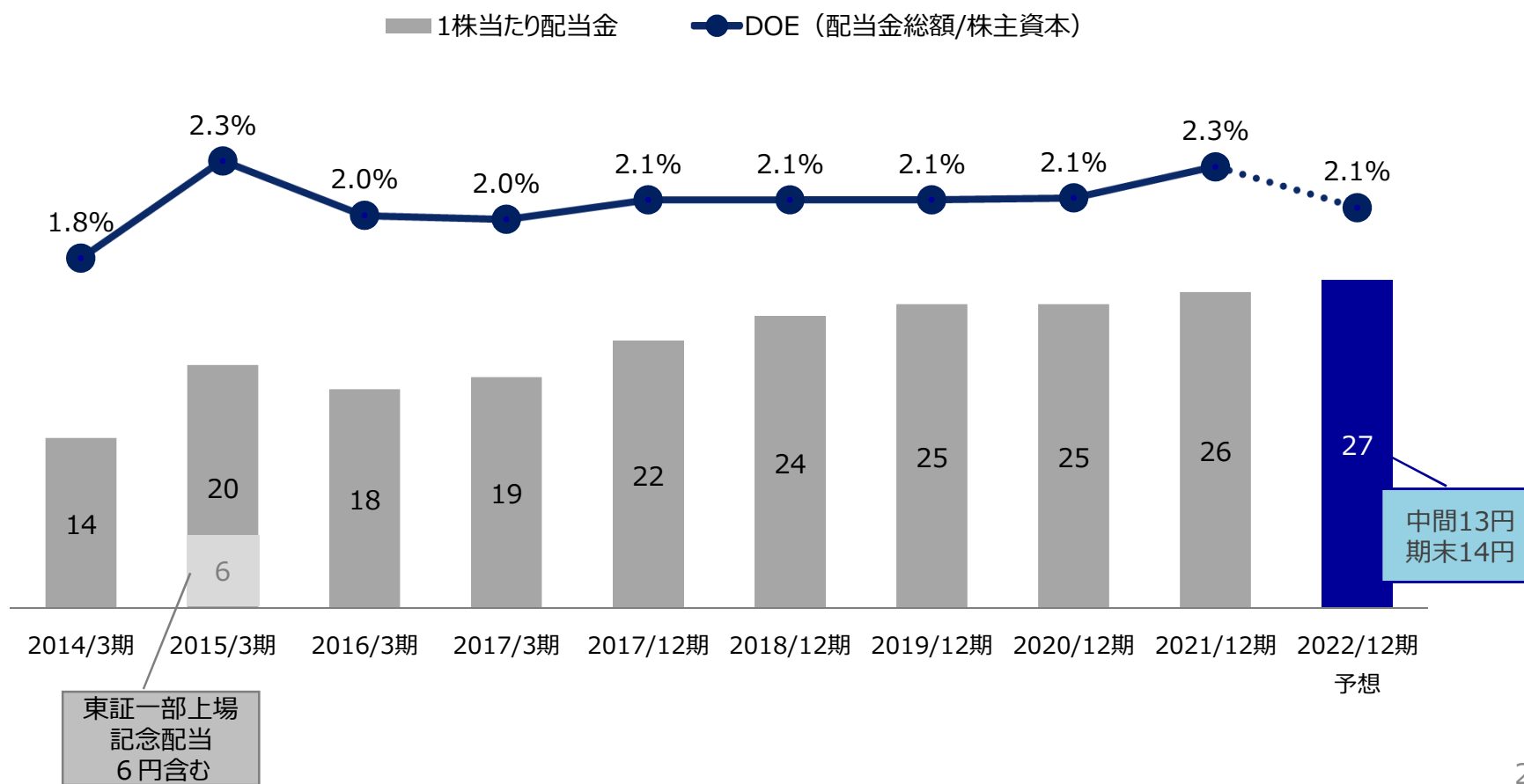


工作機械	自動車、半導体、5G関連向けで高精度機の需要増見込むも、中華圏は好調だった前年の反動あり売上前期比微減 部材調達のひっ迫やサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢、新型コロナによるロックダウン等の影響が懸念。
産業機械	自動車、電子部品、5G関連向けは日本・中華圏で堅調。医療関係向けは北米での需要継続、中華圏でも需要見込める。厦門新工場での一時的な立ち上げコストで、通期では前期比減益の予想。
食品機械	海外（中華圏・アジア）における生麺、冷凍麺、米飯製造装置の需要が伸長する見込み。 工事進行基準の採用により四半期ごとの売上の平準化は進むが、今期は2Q以降の案件が多く、1Qの進捗率は低い。
その他	金型成形事業及びセラミックスの外販ともに堅調となる見込み。

(単位：百万円)	2022年12月期			2021年12月期
	1Q 実績	通期計画	進捗率	実績
工作機械事業	14,096	51,200	27.5%	51,485
産業機械事業	2,625	10,800	24.3%	10,367
食品機械事業	1,021	8,200	12.5%	6,884
その他事業	1,861	7,700	24.2%	6,437
売上高 計	19,604	77,900	25.2%	75,174
工作機械事業	2,143	7,500	28.6%	7,176
産業機械事業	152	300	50.9%	503
食品機械事業	△ 29	950	—	830
その他事業	188	950	19.9%	811
セグメント利益 計	2,456	9,700	25.3%	9,321
調整額	△ 548	△ 2,500	21.9%	△ 2,507
営業利益 合計	1,907	7,200	26.5%	6,813

## 株主還元方針

DOE2%以上 かつ 総還元性向30%以上 を目指す










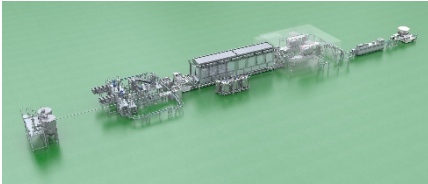
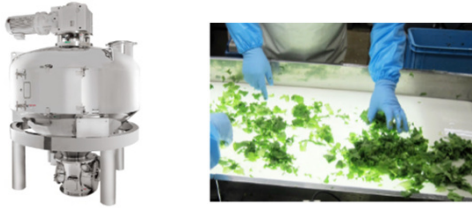



I. 2022年12月期 1Q決算概要

II. 2022年12月期 業績予想

**(参考資料)**

# 【参考資料】 事業セグメントの構成と主要製品



セグメント	工作機械	産業機械	食品機械
<p>主要製品</p>	<p>【形彫り放電加工機】 【ワイヤ放電加工機】</p>  <p>【細穴放電加工機】【金属3Dプリンタ】</p>  <p>【マシニングセンタ】</p> 	<p>【横型射出成形機】</p>  <p>【縦型射出成形機】</p>  <p>【軽金属射出成形機】</p> 	<p>【製麺機（製麺ライン）】</p>  <p>【無菌包装米飯製造装置】</p>  <p>【その他食品加工機】</p> 
<p>販売市場</p>	<p>自動車、家電、電気電子機器、航空宇宙、医療機器、エネルギー 等</p>	<p>自動車、電気電子機器、医療機器 等</p>	<p>製麺（チルド麺、LL麺、冷凍麺等） パックご飯 製菓・製パン、総菜、野菜加工 等</p>
<p>生産拠点</p>	 <p>加賀      タイ アモイ      蘇州</p>	 <p>加賀      タイ</p>	 <p>加賀      アモイ</p>

# 【参考資料】 国内外の拠点



- 5 Sodick America Corporation (San Jose)
- 6 Shanghai Sodick Software
- 7 Sodick Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.
- 8 Amoy Co., Ltd. Co., Ltd.
- 9 Sodick (Thailand) Co., Ltd.

- 10 Sodick, Inc. (Chicago)
- 11 Sodick Europe Ltd. (U.K.)
- 12 Sodick Deutschland GmbH (Germany)
- 13 Sodick Electromechanical (Shanghai) Co., Ltd.
- 14 Sodick Tom (Shanghai) Co., Ltd.
- 15 Sodick (Taiwan) Co., Ltd.
- 16 Sodick International Trading (Shenzhen) Co., Ltd.
- 17 Sodick (H.K.) Co., Ltd.

- 18 Sodick Enterprise (S.Z.) Co., Ltd.
- 19 Sodick Korea Co., Ltd.
- 20 Sodick Vietnam Co., Ltd.
- 21 Sodick Philippines Inc.
- 22 PT Sodick Technology Indonesia
- 23 Sodick Singapore Pte., Ltd.
- 24 Sodick Technology (M) Sdn Bhd.
- 25 Sodick Technologies India Pte., Ltd.



本社／技術・研修センター



ソディックエフ・ティ宮崎事業所



福井事業所



加賀事業所

## 【参考資料】 主な展示会への出展情報

会期	開催地		展示会	概要・備考
2022年				
5/19～21	日本	金沢	MEX金沢 (第58回 機械工業見本市)	
6/7～10	日本	東京	FOOMA JAPAN	食品機械展示会
9/12～17	アメリカ	シカゴ	IMTS	国際工作機械展示会
11/8～13	日本	東京	JIMTOF2022 (第31回日本国際工作機械見本市)	国際工作機械展示会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、展示会への出展予定が変更となる場合があります。

# 【参考資料】 自社Web展示会、公式YouTubeチャンネル

当社HP URL : <https://www.sodick.co.jp/>

□ 自社Web展示会では動画を交えて最新鋭機、最新技術をご紹介




□ 当社グループの海外拠点に関するコンテンツも多数展開



□ Youtubeチャンネルも開設中！



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835